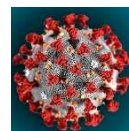


◎新生活はいかがですか？

新年度がはじまりました。大型連休が過ぎ、農繁休業期間が終わり、新入生はもちろん、2, 3, 4 年生も、授業や部活動などの学校生活が軌道に乗りはじめてきた頃かと思います。

全国的に新型コロナウイルスによる規制が緩くなってきているようです。「しっかり勉強」、「きっちり行動」、「はっきり発表」の精神で何事にも積極的に取り組んでいきましょう。

気温の変化が激しいこの時期は、体調を崩しやすい時期でもあります。1 学期末考査に向けて、規則正しい健康的な生活を送るように心がけましょう。



◎特別指導ガイドライン

特別指導とは、問題行動等を起こした生徒が、自らの行動を反省し、将来に希望や目標をもち、充実した学校生活を送ることができるよう特別に指導を行い、支援する教育活動です。

学校内謹慎、自宅謹慎、説諭があります。

(以下は、奈良県立学校における特別指導ガイドラインから抜粋したもの)

対象となる行為の例

法令・法規に違反する行為	学校の規則等に違反する行為
・ 深夜徘徊	・ 家出
・ いじめ	・ 無断免許取得及び乗車
・ 飲酒、喫煙行為（所持を含む）	・ 怠学、無断早退、遅刻
・ 暴力、強要行為	・ 無断アルバイト
・ 建造物、器物損壊	・ 考査不正行為
・ 窃盗（万引きを含む）	・ 情報モラル違反
・ 性に関するもの	・ 指導に従わないなどの指導無視及び暴言等
・ 薬物乱用	
・ 交通違反	
・ 刃物等所持	
・ その他法令・法規に違反する行為	・ その他、学校教育上指導を要すると判断した行為

◎更衣の準備を

今年度の合服期間は 4 月 14 日（木）～ 6 月 13 日（月）に予定しています。更衣基準日は 6 月 1 日（水）の予定です。基本的に 5 月は冬服、6 月は夏服着用が原則ですが、気象状況を踏まえて各自で判断して登校してください。

◎奈良テレビ「ゆうドキッ！」の放送

本校生が育てた野菜の苗販売の様子が YouTube でみられます。



◎昼休みの放送

学校生活に潤いと道徳心の醸成を願って、さらには一般常識の涵養を目的に芥川龍之介

『蜘蛛の糸』を4/21(木)の昼休みに校内放送しました。

次回は6/9(木)芥川龍之介『猿蟹合戦』の予定です。



◎心に留めてほしいこと

本校では、全校生徒を対象にスマホ・ケータイ安全教室をZOOMにて5月13日(金)に実施しました。法目をくぐるサイバー犯罪件数は未だに増加傾向にあり、高校生もその被害者になっています。信頼のおけないサイトにアクセスしないなどの対策に加え、家庭内でルールを設定すると共に、ネット依存対策もしっかり行いましょう。

ブローケン・ウィンドウ理論(割れ窓理論)

アメリカの犯罪学者ジェームズ・ウィルソンとジョージ・ケリングが発案した理論。

建物の窓が壊れているのを放置すると、誰も注意を払っていないという象徴になり、やがて他の窓もまもなく全て壊されるという考え。割れた窓を見た人が、「この場所は防犯に配慮していない」と感じ、犯罪を起こしても大丈夫ではないかと考えることから、犯罪の発生件数が増える。



◆「割れ窓理論」を活用したニューヨークの例

ニューヨークの市長となったジュリアーニ氏はこの「割れ窓理論」を元に、徹底的に街の落書きなど軽微な犯罪を取り締まった結果、凶悪犯罪の件数を激減させた。1990年代の初めと終わりとは、重罪事件の発生は75%も減ったそうです。

◆《ディズニーランド・ディズニーシー》

ディズニーランドやディズニーシーでは、パーク内のささいな傷をおろそかにせず、ペンキの塗りなおしや破損箇所の修繕を見つけ次第頻繁に行うことで、従業員だけでなく、来客のマナーも向上させることに成功している。

◆スティーブ・ジョブズも「割れ窓理論」を利用していた

1996年、業績不振に陥っていたアップル社に復帰したスティーブ・ジョブズは、「割れ窓理論」を元に社内改革を行ったとされている。その頃のアップル社内というのは「学級崩壊」ならぬ「社内崩壊」とでも言うのか、優秀な人は山ほどいましたが、全員が自分の向きたいほうを向いて好きな事をやっているような感じでした。スティーブ・ジョブズがアップルに戻ってきて、まず対処したことはダレた社風を一新することだった。彼が復活する前の社内は遅刻が常態化し、ペットを持ち込み犬と遊んでいる社員までいたという。

スティーブ・ジョブズもアップルの汚いオフィス、ルーズな社風一掃から着手した。スティーブ・ジョブズがアップルに戻ってきて行った仕事。それは、働く“環境”を徹底的に変えたことである。ペットの持ち込みを禁止するなど、まずは社内の意識改革から行ったという。学校でも、挨拶、服装・頭髪違反、時間、期限、宿題など、学生として基本的なことを守れなくなったり、見逃していると、それがブローケン・ウィンドウ理論(割れ窓理論)になって規範意識の低下、学校環境の悪化、学習環境の悪化、学習意欲の低下、学力の低下、特別指導の増加、進路の合格状況の悪化などにつながっていくおそれがあります。「割れ窓理論」の教訓を実践して成功した多くの例のように本校も取り組んでいきたいと思ひます。

